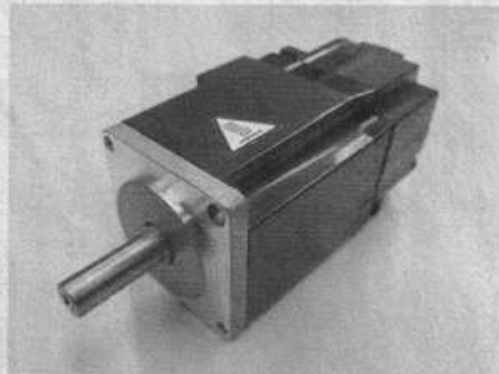


モーター改良事業開始

来月から 初年度20件受注へ

カノッサ製作所

FA分野のサポート事業を手掛けるカノッサ製作所(本社名古屋市中川区尾頭橋、新膳健裕社長、電話050・3563・4543)は5月から、搬送機やロボットなどに使われているモーターの改良事業に乗り出す。制御プログラムなどを変更し、モーター性能を向上させる。工作機械メーカーや自動車完成車メーカーを中心に、初年度20件の受注を見込む。(倉科信吾)



モーターのプログラム改良などで性能を上げる

プログラム書き換え 操作性大幅アップ

新膳社長は、1級電気施工管理技士の資格を持つ。電気分野の専門知識と、熟練の経験を生かし、モーターの能力を十分に引き出すプログラムを作成する。既

存のプログラムレベルが著しく低い場合は、改良によって数倍以上も性能をアップできる可能性もあるという。

具体的には、丸や矢印などをを用いてプログラム内容をわかりやすく記述するソフトウェア「MATLAB/Simulink」を活用し、モーターのプログラ

ムを書き換える。C言語などのプログラミング言語を使わず、図式で顧客にプログラム内容を説明できるため、素人でも設計を理解しやすくなり、顧客とのコミュニケーションを円滑に進めやすくなる利点がある。

また、プログラムだけでなく、モーター用の電源装置の回路変更も必要に応じて行う。モーター性能の向上で、製造現場での作業時

間の短縮や、操作性向上などに注力していく。
同社は2016年9月に設立。建築施工業者など向けにFA機器の不具合調査社長)としている。
などを手掛けてきたが、「市場拡大が期待でき、収益性の高い新事業を立ち上げて成長を目指す」(新膳

(新聞著作物使用申請済み)

摘	要
新聞著作物使用料(HP)	平成29年4月24日 第4面記事
使用期間	平成29年4月27日～1年間

版のコーディネートが担当